

## 平成23年度 第1回公民館運営審議会 議事録

日 時 平成23年7月22日（金） 午前10時～  
場 所 柏原市立公民館 2階 多目的室  
出席者 公民館運営審議会委員  
山田勝久（会長）、浦野かをる（副会長）、石橋實、茨木英夫、浦上隆、上井希子、川本町子、日下部実子、高井貞二、田中秀昭、松永栄三（委員は氏名50音順）

### 事務局

岡本彰司（生涯学習部長）、酒谷敬三郎（公民館長）、川崎一彦（公民館長補佐）、田前亮太（公民館主幹）

### 案 件

- (1) 平成22年度事業報告について
- (2) 平成23年度事業経過報告について
- (3) その他

### 発言要旨ほか

- (1) 平成22年度事業報告について  
(事務局から講座事業、利用状況について報告)

### 委 員

文化センター利用者数増加の原因と国分分館利用者数減少の原因は何ですか。

### 事務局

文化センターでは、大きな行事が催されることが多いのですが、天候等により人数の変動の幅が大きいことが影響します。国分分館については、指導者が健康上の理由で使用を中止された団体が一つありました。

### 委 員

資料によると、講座の参加者に過去に講座を受けたことがある経験者の多い講座が見られますが、講座を修了してクラブに入っている人が人数合わせのために講座に参加しているのではないですか。

### 事務局

経験者の参加があるのは、もう一度、基礎を振り返って学びたいという希望に応えるた

めのものであります。ただし、より多くの人に広く門戸を開くために、定員に達した場合は、経験者にご遠慮願って、初心者への参加を優先しています。

委 員

以前の文化講座は、年間を通じて開講されていましたが、講座を春秋の 2 期に分けたことにより、半分の期間だけで充分なのかという意見はありませんでしたか。

事務局

年間講座で長期にわたる場合、各回の講座の間隔が開いて 1 回休むとついていけなくなります。公民館の講座はいきなり入門・初級者が長くつづけてゆくための、手ほどきとするという目的があります。スピード化した現代にあって、1 年間のスケジュールを立てるのは難しく、春、秋の年 2 回学び始める機会を設けています。講座で基礎を学んだ上で、クラブに加入して学び続けることもでき、予定も立てやすく、集中的に学ぶことができると好評です。

(2) 平成 23 年度事業経過報告について  
(平成 23 年度事業計画について説明)

委 員

秋の市民文化祭を 3 週から 2 週に短縮する案については、堅下合同会館はあまり使っておらず不慣れなのと、市民文化祭で行われる行事が相互に人を呼ぶことを考えると、できるだけ分散せずに文化センター一ヶ所に集中して開催してほしい。

事務局

事務局としては、より多くの市民が参加しやすくできることを目的に、短期集中型で開催することを予定しています。市民体育祭が 10 月 10 日に開催されることも考慮しつつ、近くの柏原東小学校体育館を使って小学生の作品展示を行うとか、スタンプラリーを行うなど、今までにない内容を盛り込んでいくことを考えています。そのためのたたき台として立案しました。

会 長

本年の文化祭は 2 週に短縮して開催するが、細かい点は今後、主管する文化連盟とも協議して進めていただくこととします。